

2024年02月28日

課題名：心臓専用半導体 SPECT を用いた心筋血流の定量評価

◆研究の目的と概要◆

当院では、心臓専用半導体 SPECT を用いて心筋血流について定量評価が可能か調べています。

従来の検査方法では、心臓を運動したときのように動かした時（以下、負荷時）と心臓を休ませた時（以下、安静時）での心臓に流れる血液の量を比べる際に血流量が多いか、少ないかという相対的な観点から比較しておりました。しかし、本研究で使用している Dynamic 法では、負荷時と安静時の検査を連続して行うことによって、負荷時と安静時の心臓の血流量を経時的に観察できるようになりました。そのため、血流量を数値化して比べられるようになります。

本研究では、従来では評価が難しかった心臓の多数の血管に病変がある場合などの診断能の向上を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年4月から、2023年2月までの間に、当院で心筋血流シンチグラフィ検査を Dynamic 法にて検査を実施した方。

◆研究に使用される情報・試料◆

安静時、負荷時の心筋血流量および MPR（心筋血流予備能（myocardial perfusion reserve）、カテーテル検査結果

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024年4月1日以降

◆研究方法◆

本研究は検査時に取得した画像データを使用して解析を行います。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
放射線技術部 RI 検査室 藤原駿

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明